

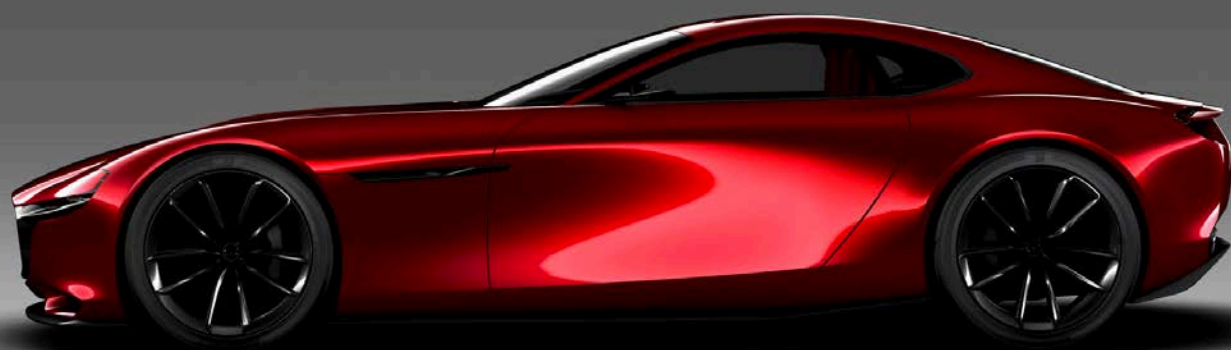
道具学会は設立25周年を迎えました。その節目にあたりオンライン記念レクチャーを開催いたします。

2022年3月5日(土)13時30分～16時30分

道具の美

— 道具文化と美の在り処 —

前田育男氏と朝倉重徳氏による記念レクチャー



お話いただくお二人は「移動のための道具 — 乗りもの」の、デザインの探求者です。

乗りものは、たんなる移動の道具ではなく、さまざまな想いを乗せて走ります。

かたちに造形美があるように、機能にも機能美があります。

その走り方にも、乗り方にも、またつくり方においても「美の意識」は働くのではないのでしょうか。

道具と人との間にあるであろう「美」をとおして、道具の魅力を探ります。



前田育男 (まえだいくお)

マツダ株式会社常務執行役員
デザイン・ブランドスタイル担当
デザインコンセプト「魂動」を立ち上げ
マツダブランドを牽引している。



朝倉重徳 (あさくらしげのり)

株式会社GKインダストリアルデザイン
代表取締役社長・インダストリアルデザイナー
「美しい考え、美しいかたち、美しい関係」
を掲げ、多様なプロダクトを手がけている

道具学会

設立25周年

記念レクチャー

1996年、日本発の普遍学「道具学」の確立を目標に船出した「道具学会」。本年度2021年度で四半世紀を迎え、さらなる未来への航海を続けています。その目指すところは、学術研究的側面に加え、新たな道具開発や生活文化の啓発的側面も重視し、これからの地球社会に寄与し得る道具文化の発展を実現することにあります。

そのためには、日々の活動を通じて得た貴重な体験や知見を基に過去現在未来を貫く「全時代的課題」を認識するとともに、壮麗で雄大な「全地球的・全宇宙的視野」に立ち、「人間と道具」「自然と人工」「文化と文明」「道徳と倫理」等の意味とその関係を解き明かす努力を積み重ねたいと思います。とりわけ、近現代における科学技術や産業経済優先の道具づくりの体系、高度大衆消費社会それ自体が、自然破壊や環境汚染という地球規模の大きな問題を起して来たことへの反省に立つならば、これからは、人間の尊厳と道具に秘められた美と文化の高さを優先し、そこに潜在する美の在り処を探り、人間の豊かな暮らしへと繋げることが肝要と心得ます。

そこで、設立 25周年 記念レクチャーのテーマを「道具の美——道具文化と美の在り処」と設定し、その壮大な道具世界の本質や生態、存立の思想、哲学、美学などに焦点を当て、論を交わしたいと思います。今回の記念講演につきましては、法人会員 2社より交通（トランスポートーション）に関する世界を共にするお二人をお招きし、

▶前田育男氏（マツダ株式会社常務執行役員、デザイン・ブランドスタイルご担当）には、「車のデザインの醍醐味——パーソナル・トランスポートーションの美学」（仮題）について

▶朝倉重徳氏（GKインダストリアルデザイン代表取締役社長）には、「乗り物と人々を繋ぐ美——パブリック・トランスポートーションの饗宴」（仮題）についてモデレーターは山田晃三本会監事が担当します。

それぞれのお立場での興味あるお話をいただく予定です。会員の皆様はじめ多くの方々の積極的なご参加を心よりお待ちしております。

道具学会会長 藤本清春

2021年3月5日（土）13時30分～16時30分

●開催形態：Zoomウェビナーによるオンライン開催

●参加費：一般 ¥1,320- 道具学会会員（個人・法人）¥500- 学生会員無料

●申込先：Peatixページ <https://douguology220305.peatix.com/>

●道具学会公式サイト：<https://douguology.jp>



講演者：前田 育男（まえだ いくお）氏

マツダ株式会社常務執行役員デザイン・ブランドスタイルご担当。1959年、広島県生まれ。京都工芸繊維大学意匠工芸学科卒業。1982年、東洋工業（現マツダ）入社。横浜、カリフォルニアのマツダ先行デザインスタジオ、フォード本社（デトロイト）のデザインスタジオを経て、本社デザインスタジオで量産デザイン開発に従事。チーフデザイナーとして複数台の車種デザインリーダーを手がけた後、2009年デザイン本部長就任。マツダブランドの全体を貫くデザインコンセプト「魂動」を立ち上げ、多くのデザインアワードを受賞。2016年より、常務執行役員デザイン・ブランドスタイル担当。趣味はモータースポーツで、国際C級ライセンスを保有。著書に『デザインが日本を変える ～日本人の美意識を取り戻す～』（光文社新書）などがある。



講演者：朝倉 重徳（あさくら しげのり）氏

インダストリアルデザイナー。株式会社GKインダストリアルデザイン代表取締役社長、株式会社GKデザイン機構取締役。1963年東京生まれ、早稲田大学理工学部 機械工学科卒業後 渡米、Art Center College of Designを経て株式会社 GK 入社。産業機器、公共交通からコンシューマプロダクトまで「美しい考え、美しいかたち、美しい関係を 創造するデザイン」として 活動している。グッドデザイン大賞、内閣総理大臣賞、iF賞、Red Dot賞、IDEA賞、German Design Award等、受賞多数。活動：JIDA会員、グッドデザイン賞審査委員（2007～2014、2016～2018、2020～2021）、iF Taiwan COMPUTEX d & i awards 審査委員（2012）、SG Mark審査委員（2018）、DAI最終審査委員（2021）。

モデレーター：山田 晃三（やまだ こうぞう）

月影デザインコンサルティング代表。GKインダストリアルデザイン研究所、GKデザイン機構をへて現職。道具学会監事。日本サインデザイン協会副会長。日本デザイン振興会フェロー。